

農業後継者活動現地情報

若手農業者と4Hクラブ代表者が取り組んだ課題解決の結果を発表
～令和3年度銚田地域農村青少年プロジェクト実績発表会を開催～

1月21日（金）、銚田合同庁舎において新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底する中、銚田地域農村青少年プロジェクト実績発表会を開催しました。当日は、農業学園生や銚田市4Hクラブ員9名の他、助言者として農業三士の代表の方等を含め、計18名が参加しました。

発表会では、プロジェクト活動として神栖市の木野本青空（しょうあ）さんが、ピーマンにおける追肥方法の違いが収量等に及ぼす影響について、事例発表として銚田市4Hクラブの檜山直紀さんが、共同で取り組んだカンショ栽培における肥料試験結果と直売活動について、発表を行いました。

2人とも取り組み内容や、結果考察について助言者からは、「大変分かりやすい発表だった。今後も課題を見つけ、自分たちの経営改善に取り組んでほしい。」等の意見が出された他、参加者からも「栽培や販売をするにあたり、どのようなことを大切に取組んでいるか」や、「土壌分析を行い、土壌中にある肥料分についても調査した方が良かったのではないか。」など様々な意見が出され、活発なやりとりがありました。

鹿行農林事務所経営・普及部門では、今後も若手農業者の育成や経営発展に向けたプロジェクト活動の支援に取り組んでいきます。



令和4年2月 9日（担い手）